

2014年度第3回つくばチャレンジ実行委員会議事録

- 1 日 時 平成27年1月6日(火) 11:40~13:10
- 2 場 所 筑波大学 大学会館3階 第5会議室
- 3 出席者

【実行委員】 [出席者名簿参照](#)

【事務局】(つくば市科学技術振興課) 小川 英男、岩田 光弘、宮本 拓也、大野 慎平

4 配布文書

- (1) 議事次第
- (2) つくばチャレンジ2014参加レポート集

5 議事

(1) つくばチャレンジ2014の記録と反省

油田実行委員長より、つくばチャレンジ2014の経過と結果が報告され、併せて、実行委員メンバーの協力に対して礼が述べられた。又、以下の点についての議論が行われた。

◇ 安全の確保について

昨年と比べ安全性は改善されていたとの意見であった。その理由は以下の点である。

- ・確認走行の導入により、自律走行の危険性が減少した。
- ・歩道上でデバック作業しているチームが減少した。

◇ 確認走行導入による弊害

確認走行をクリアできないチームが大清水公園から出る事が出来ないため、思うような課題に挑戦できないこともあるとの意見が交換された。

◇ 実施体制の反省点

実施体制について、以下の意見が交換された。

- ・本部モニターの活用について。
- ・電源の必要性。

◇ その他

参加チームの貨物運搬について、トラブルが発生する事態があった。参加者のロジティクスについてもノウハウの流通が必要。

(2) つくばチャレンジ2015の計画

◇ 日程について

事務局を含めた実施体制の関係で、実験走行の日数を減らさざるを得ない可能性がある。今後、事務局と相談の上回数を決定するとの旨、説明があり了承された。

◇ 課題について

来年度の課題について「横断歩道を渡る」という意見が出され、意見交換がされた。

可能な限り、3月中には課題を決定し、HPにて発表することとなった。

(3) 今後の予定について

油田実行委員長より、実行委員の方々に、引続きつくばチャレンジへの協力が依頼された。又、新たな実行委員について適任者がいれば推薦を頂きたいとの依頼があった。

以上